

記入日 2011年1月17日

1. 概要

実践団体名	高塚台二丁目自治会		
連絡先	高塚台二丁目自主防災会会長 井坂孝之 Tel 0745-73-7456		
プランタイトル	学校を巻き込んだ、防災・防犯を一体化した地域の安全・安心向上作戦		
プランの対象者※1	2.3.8.9.10.	対象とする災害種別※2	1.5.6

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント!】

これまで防犯活動や通学路での子どもの見守り、学校支援ボランティアを通じて培ってきた地域と学校の繋がりをもとに、児童期から防災・防犯を学ぶことで防災・防犯を身近な「日常化」として捉えるようにする。そこから将来のリーダー育成につなげていく。

「いつも見守りしてくれているおっちゃん・おばちゃん」がゲストティーチャーになり、日常の生活から切り離せない防犯だけでなく防災も学習することにより、地域で活動している人々と児童・教員との連携が強まる!

【プランの概要】

- 1 『防災訓練(魅力的なイベント防災+防犯「かえるきゃらばん!」)』の実施
- 2 「防災・防犯をテーマとした寸劇」の実施
- 3 「家具転倒防止講習会・モデル事業」の実施
- 4 防災・防犯活動の実施とそのマニュアル作成

【期待される効果・ここがおすすめ!】

近隣のつながり・絆を深め、顔の見える関係を築き、助け合う心を育てること
(住民の自助・共助意識の向上+地域・学校・行政の連携)

- 防災・防犯意識の向上を図る
- 学校を含めた地域の連帯感を醸成することにより、住民の安心感を高める
- 災害発生時のスキルアップを図る
- 犯罪被害者にならないための個々のスキルアップを図る

2. プランの年間活動記録 (2011 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4月	4日 第7回打合せ 7日 第8回打合せ 11日 第9回打合せ	15～17日 ・防災・防犯 授業の準備 ・ワークショップ用文 房具の購入	18日 防災・防犯全般授業(6年全 員)
5月		10～11日 ・防災・防犯 授業の準備 13～15日 ・フィールドワーク 用資料の準備 24～6/21日 ・DIG 資料 の準備、資機材調達 ・家具図面作成、家具用 資機材調達	19日 神戸防災センター見学(4年全員) 12日 防災・防犯全般授業(5年全員) 24～6/21日(6年1組)・フィールドワーク、防 災・防犯マップ製作 16～30日 (6年2組)シナリオ作成 26～6/2日 (5年1組)宿題まとめ 26～6/23日 (5年2組)モデルハウス組で、 家具製作
6月		各クラス 授業1週間前に資料準 備、小物資機材調達	25日 自治会防災訓練(4年生希望者) 6日～27日(6年2組) 防災シナリオ製 作 9～7/7日 (5年1組)パズル、クイズの 製作 30日(5年2組)課題発表シナリオ作り
7月		各クラス 授業1週間前に資料準 備、小物資機材調達	4～18日(6年1組)スコロク製作、リハール 4～11日(6年2組)寸劇背景製作、リハール 14日 (5年1組)課題発表リハール 7～14日 (5年2組)課題発表リハール 19日 (全学年)課題発表及び見学会
8月			5日(第一小学校)家屋耐震、家具転倒防 止講習会
9月			2日(第二小学校)家屋耐震、家具転倒 防止講習会 23日(自治会)救急救命講習会
10月			15～16日 内閣府中間報告会
11月			26日(8自協会)合同防災訓練
12月		9日、11日 ・モデルハウス移動、組み 立て解体 ・家具転倒モデル事 業必要資機材購入	10日(自治会)家屋耐震、家具転倒止 講習会 11～20日家具転倒防止モデル事業 1日～ 最終報告資料まとめ
1月			17日(第一小学校)防災講座
2月			
3月			

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号：1-1】※3

タイトル	かえるきやらばん！ In 第3小学校 防災・防犯すごろく ～学校へ急げ！！～
実施月日（曜日）	4月18日～7月18日 毎月曜日+7月19日(火)
実施場所	校区内&教室ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：高岡（高塚台2丁目自主防災会）、丸山（3小PTA） 補助：井坂、山本（高塚台2丁目自主防災会）、桐原（河合町）
所要時間または「コマ数×単位時間」	1学期（週1回、45分×2コマ）
プログラムのカテゴリ、形式※4	2
活動目的※5	1,
達成目標	地域の防災・防犯ポイント&魅力ポイントを知る
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	事前学習 校区内フィールドワーク DIG 巨大すごろく（マスごとに防犯・防災クイズ）作成&遊ぶ
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	人材 ; 担当者+地域防犯に熱い人（インタビュー） 道具・材料； 校外学習用筆記ボード、模造紙、ビニールシート、カラーのガムテープ、ブルーシート など
参加人数	1クラス+α
経費の総額・内訳概要	約2万5千円+マーカー類は学校、役場が提供
成果と課題	【成果】校区を巨大すごろく化したことにより、全校児童が遊びながら体験でき、作り手がわのクラスも校区を良く知ることができる。また、地域のリーダーとして活動してくださっている方にインタビューすることにより、その方々の想いを直接知り・感じることができる。 【課題】次年度以降、どのように継続するか。
成果物	巨大すごろく・校区の防犯防災マップ

【実践プログラム番号：1-2&2】※3

タイトル	かえるきやらばん！ In 第3小学校 防災寸劇 ～地震に自信！？～
実施月日（曜日）	4月18日～7月18日 毎月曜日+7月19日(火)
実施場所	教室ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：新開（高塚台2丁目自主防災会）、坂口・竹下（高塚台2丁目民生委員ほか）、石原（星和台自主防災会） 補助：井坂、（高塚台2丁目自主防災会）、桐原（河合町）
所要時間または「コマ数×単位時間」	1学期（週1回、45分×2コマ）
プログラムのカテゴリ、形式※4	2
活動目的※5	1
達成目標	地震防災について、低学年にもわかりやすいものをつくる。
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	事前学習 シナリオ作り 大道具・小道具制作 リハーサル
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	人材 担当者 道具・材料 模造紙、カラーのガムテープ、絵の具 など
参加人数	1クラス+α
経費の総額・内訳概要	2つの寸劇それぞれ3千円程度
成果と課題	【成果】災害について「知っているけど無関心」であった児童が「自分たちが教える立場」なることから真剣に学び、取り組むことができた。 【課題】細かく状況分けしたことにより、まとまりのある班と焦点が定まらない班があった。
成果物	寸劇シナリオ

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：1-3&2】※3

タイトル	かえるきやらばん！ in 第3小学校 防犯寸劇 ～いかのおすしダンスチーム～
実施月日（曜日）	4月18日～7月18日 毎月曜日+7月19日(火)
実施場所	教室ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：新開（高塚台2丁目自主防災会）、坂口・竹下（高塚台2丁目民生委員ほか）、石原（星和台自主防災会） 補助：井坂、（高塚台2丁目自主防災会）、桐原（河合町）
所要時間または「コマ数×単位時間」	1学期（週1回、45分×2コマ）
プログラムのカテゴリ、形式※4	2
活動目的※5	1
達成目標	地震防災について、低学年にもわかりやすいものをつくる。
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	事前学習 シナリオ作り 大道具・小道具制作 リハーサル
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	人材 担当者 道具・材料 模造紙、カラーのガムテープ、絵の具 など
参加人数	1クラス+α
経費の総額・内訳概要	2つの寸劇それぞれ3千円程度
成果と課題	【成果】防犯について「知っているけど無関心」であった児童が「自分たちが教える立場」なることから真剣に学び、取り組むことができた。奈良県警オリジナルソング「いかのおすし一人前」（全国的には「いかのおすし」のみ）のダンスコンテストで優勝し、公式振付のもとになった3小のダンスの実績を活かし、金管バンドなどで県内ひっぱりだこのダンスを寸劇に入れた。 【課題】時間配分。シナリオが小学生向けのみなので、多世代に向けたものも必要。
成果物	寸劇シナリオ

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：1-4】※3

タイトル	かえるきやらばん！ In 第3小学校 防火 ～割って・選んで・火事さがし～
実施月日（曜日）	5月12日～7月14日 毎木曜日+7月19日(火)
実施場所	教室ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：吉村・山地・湯浅ほか（河合町女性消防隊） 補助：井坂、（高塚台2丁目自主防災会）、桐原（河合町）
所要時間または「コマ数×単位時間」	1学期（週1回、45分×2コマ）
プログラムのカテゴリ、形式※4	2
活動目的※5	1
達成目標	火事の予防について、クイズやパズルで分かりやすく学ぶ
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	事前学習 家の危険ポイントを知る イベントプログラムの流れを考える パズルなど制作 水消火器で消火体験的当てゲーム
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	人材 担当者 道具 模造紙大の家の絵、絵の具、ボード、スプレーのり、風船、紙、
参加人数	1クラス+α
経費の総額・内訳概要	約1万8千円
成果と課題	【成果】火事について「知っているけど無関心」であった児童が「自分たちが教える立場」なることから真剣に学び、取り組むことができる。普段活動を知らなかった女性消防隊にメインゲストティーチャーになってもらった。小学校教諭経験者がいたため、授業の進行がスムーズで、子どもたちの発案を上手く引き出した。 【課題】次年度以降の継続。
成果物	防火クイズ・防火家パズル

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：1-5】※3

タイトル	かえるきやらばん！ In 第3小学校 耐震&家具転倒防止～ゆれて・たおれて。さあ大変！～
実施月日（曜日）	5月12日～7月14日 毎木曜日＋7月19日(火)
実施場所	教室ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：山本（高塚台2丁目自主防災会）、 補助：井坂・高岡（高塚台2丁目自主防災会）、久保・斧（学校支援ボランティア）、桐原（河合町）
所要時間または「コマ数×単位時間」	1学期（週1回、45分×2コマ）
プログラムのカテゴリ、形式※4	2
活動目的※5	1
達成目標	家の耐震化について、実物（1/2スケール）を用いて学ぶ。
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	事前学習 紙ぶるる制作&プチ体験 実際の材木を用いて1/2スケールの部屋と家具を制作 低学年に教えるためのシナリオづくり
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	人材 担当者 道具 紙ぶるる、材木、スチールボード、釘、トンカチ、絵の具、スプレーニス、 など
参加人数	1クラス＋α
経費の総額・内訳概要	約24万円（モデルハウス本体約17万円（町役場負担）、モデルハウス付加分約4万円、家具等材料費約3万円）
成果と課題	【成果】なかなか進まない「耐震化」について、底辺である「家族の会話」にターゲットをしぼり、児童から家庭への話題提供とともに、自分の部屋は安全か？自分の家は安全か？の啓発ができた。 【課題】次年度以降の継続。地域内の家屋耐震化へどのようにつながっていくのか。
成果物	耐震モデルルーム・家具

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：3】※3

タイトル	家具転倒防止講習会・モデル事業
実施月日（曜日）	12月10日（土）
実施場所	地域の集会所
担当者または講師	メイン担当&講師：大和（奈良県防災士会）、 補助：井坂・山本・高岡（高塚台2丁目自主防災会）、森嶋（河合町）
所要時間または 「コマ数×単位時間」	3時間30分
プログラムの カテゴリ、形式※4	13
活動目的※5	2
達成目標	自宅の耐震化&身近で安価な家具転倒防止を広める
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	座学（パワーポイント） 電動ドリルなどを使っての体験 かえるきゃらぼん！で制作した耐震モデルハウスを利用し、体験
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	人材： 担当者+地域の住民 道具： プロジェクター、モデルハウス、電動ドリル、角材、ねじ、 など
参加人数	30～40名
経費の総額・内訳概要	ほぼ無料
成果と課題	【成果】防災士として、地域の安全に寄与するため、家具転倒防止講習会の後、家具の固定をしてほしい家庭を募り、モデル事業として実際にメンバーで固定実施。毎年数件の固定を募り、会員で実施予定。 【課題】次年度以降の活動の継続。自分たちでできる家具転倒防止のお手伝いの宣伝と必要な家庭の掘り起し。
成果物	家具転倒防止家庭の増加（本年度はモデル宅として）

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：4】 ※3

タイトル	防災・防犯活動の実施とそのマニュアル作成
実施月日（曜日）	各イベント終了時
実施場所	各自宅ほか
担当者または講師	メイン担当&講師：それぞれの担当者 補助：桐原（河合町）
所要時間または 「コマ数×単位時間」	数時間
プログラムの カテゴリ、形式※4	17
活動目的※5	2
達成目標	各イベント等について、どこの誰でも真似できるようなマニュアルを！
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	統一フォームに手順を書く。
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	人材 担当者 道具 パソコン、紙など
参加人数	約 10 名
経費の総額・内訳概要	ほぼ無料
成果と課題	【成果】 マニュアルを制作することにより、改善点や反省点がみえる。また、自分たちが実施したことを「何かしたい」と思っている人々にも「できる」ツールとして提供する。 【課題】 次年度以降の活動のメンテナンス継続。
成果物	各イベントマニュアル

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案と調整で苦勞した点 工夫した点</p>	<p>【苦勞した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今回のプランでは全体として自治会単独で出来るイベントは少なく、立案～実行まで、人のふんどしのみならず土俵も借りる状況であり、関係者との調整に困難を予想したが、町役場が見事にコーディネーターとしての役目を果たしてくださった。 <p>【工夫した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに培ってきた学校とのつながりをフルに発揮して、学校側の協力体制の元、地域のボランティアが主導となってこまめに打ち合わせをしつつ進めた。 2 最初から防災だけの取り組みではなく、防犯も取り込んだことでより日常生活に根差したものとなり、自主防災会だけではなく、多岐にわたるボランティアに参加してもらい、様々な活動ができるように工夫した。 3 授業時間の確保、活動場所の確保等時間割の調整（学校側）
<p>準備活動で苦勞した点 工夫した点</p>	<p>【苦勞した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題発表のツールが多岐（寸劇、家屋模型、すごろく・・・）に亘り、その製作資機材の調達、ボランティアの確保等に苦勞があった。 <p>【工夫した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大工仕事や DIY の得意な地域の仲間に声をかけ、町役場の建築士と相談の元、木造家屋耐震化啓発のためのモデルハウスや家具を制作する準備をするなど、得意分野を持つ人をうまく活用することにより、できるだけスタッフ個人にかかる負担を少なくした。 2 町役場担当で準備できるものは役場担当者が消耗品の提供をしてくれ、チャレンジプランの補助金では不足する分を用立ててくれた。これも普段から何くれとなく相談したり協働してきた実績があつてのこと。 3 子どもたちが授業でスムーズに取り組めるよう、学校とも連絡を取り合いながら空いた時間を利用して、子どもには少し難しい作業や物品の下準備などをメイン担当等関係なく時間がとれるものが進めるようにしていた。
<p>実践に当たって苦勞した点 工夫した点</p>	<p>【苦勞した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各クラスごとの進捗に併せた資機材の準備、マンパワーの確保が必要であった、又、担任教諭との打ち合わせの時間確保にも苦勞した。 <p>【工夫した点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童からアイデアを出してもらい、それを流れに組み込むことを重要視した。 2 5.6年生に最初から自分たちが4年生以下の後輩たちに先生がわりに教えることを伝え、それを前提に学び、ツールを制作することを伝えた。このことにより5.6年生自身の自覚と集中力を高めるよう留意した。 3 フィールドワークでは地域の防犯リーダーとして朝夕見守り活動を続けている方に児童が直接質問するなど、普段あいさつしている以上の関わりを持つようにした。 <p>(学校側の工夫)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 制作途中の作品の保管と管理 5 イベント当日の低・中学年児童のグループ分けとタイムテーブルの作成 6 児童の役割分担

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	河合町立河合第三小学校 河合町立河合第一小学校 河合町立河合第二小学校	授業枠（総合学習）の提供、担当教諭の協力、場所の提供 小学校耐震講座での耐震化講座授業枠の提供
保護者・ PTAの組織	保護者	前PTA会長がスタッフ（ゲストティーチャー）の一人として参加。
地域組織	学校支援ボランティア 河合町内自主防災会 （星和台・泉台）	耐震化啓発用家具の制作等の協力 第一・二小学校での耐震化講座の協力、ゲストティーチャー協力（1名）
国・地方公共団体・ 公共施設	河合町（安心安全推進課） 奈良県（安全安心まちづくり推進課） 西和警察署	全面的なフォロー及びバックアップ、準備等 講師の派遣 講師の派遣
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	河合町女性消防隊	防火についての全般を担当
職業、職能団体・ 学術組織、学会等	奈良県防災士会	講師の派遣

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<p>町内小学校では初の試みとなった。総合学習を多く割り、学校と地域及び行政が一体となって地域の防災防犯について児童をメインに高学年が低学年に教えることを前提として学習・制作することにより、児童や学校での意識の底上げができた。また、防犯だけや防災だけの取り組みとはしなかったため、自主防災会のみではなく、町内の様々な団体とも協働でき、人的なつながりが構築された。</p> <p>地域の役割や学校、行政の役割が大まかに見えてきたことで、それぞれがどのような備えをしなければならないか、学校で児童生徒にどのような防災教育をしていかなければならないかなど、これまで漠然としていたことが具体的に捉えられた。また、町が一括管理・保管していた防災備蓄なども各小学校の体育館（広域避難所）に備えておかなければ発災時に利活用しにくい、などの備え方の検討につながった。</p> <p>また、この試みにより、町内公立小中学校の防災防犯などの「安全」への火付け役となり、これまで個々にしか作成されてこなかった「学校安全」に関する計画やマニュアルを最低限統一しようという町内一体の動きがあり、今年度後半より教育委員会を中心としてそれらが作成されることとなった。</p> <p>【第3小学校】 これまででは一部の教員と地域とのつながりはあったが、教員集団と地域の皆さんとのつながりが深まった。</p>
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>チャレンジ中に東日本大震災という未曾有の大災害が発生したことにより、スタッフや児童をはじめ学校や教諭陣の真剣さも増した。</p> <p>5.6年生全4クラスでそれぞれ異なった取組をしたため、授業時間に差がでてしまい、担任の先生の授業の時間数に迷惑をかけたクラスもあったので、授業の運び方、授業時間ごとの目的と用途をはっきりさせておく必要を感じた。教師経験者がいたクラスは目的と目標、進度がはっきりしていたため、スムーズな進行となっており、さらに担任教諭との綿密な打ち合わせや宿題の使い方が上手かったため、担任教諭とのこまめな打合せがとても重要だと実感した。</p> <p>児童から意見を出してもらいそれを採用することを優先させたことについては、スタッフの予想をはるかに上回る児童の発想や意見が多く、逆に驚かされる場所が多かった。クラスや班を見ていると、リーダーとなる児童が一人いればかなり意見などはまとまりやすく、リーダーがはっきりしない班はダラダラと続く感があった。はっきりとリーダーを指定した方が進行がスムーズかもしれない。</p> <p>チャレンジプランを実行したことにより、学校と地域の繋がりがさらに強まり、学校支援ボランティア内にも防災意識が高まった。例えば例年学校菜園の収穫でやきいも祭りを開催していたものに、竹を使った非常食づくりをプラスするなど、実効性のある楽しい内容が増えたことも喜ばしい。</p> <p>【第3小学校】 校区内の全自治会とのバランスを考えた活動・防災防犯教育を実施すること。 学校組織として人事異動があっても対応できる組織づくり。 避難所となったときにどう対応するか訓練やシュミレーション、役割分担。 地域と児童が合同で行う防災訓練。例) 一部児童が参加する。炊き出しの準備などから全面的に児童が関わる。など。</p>

**今後の
継続予定**

学校、行政に言えることだが、「担当者（担当教諭）がいないとできない」事業とならないよう内部の引継や人材確保を徹底されたい。

防犯が日常的に捉えられ、毎日の見守り活動となっているように、防災も「いつも」備えておくべきものとして物心ともに啓発していく。

【高塚台2丁目自治会】

地域内での意識格差を減らすべく、防災訓練や家具転倒防止講習会を続け、安心して安全な地域を住民みんなで築ける地域づくりをしていく。

【第3小学校】

学校における今年度の活動ほどの授業時間を割くのはこの先難しいかもしれないが、昨年度よりは来年度、学校でも防災防犯の取り組み時間を確保し、マニュアル化したもので誰でも対応できるようにする。

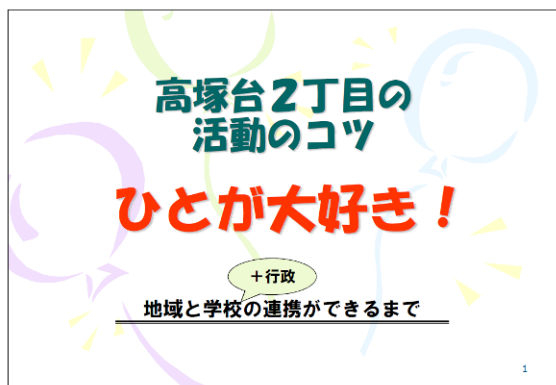
【河合町】

備蓄の在り方を検討し直し、必要となる場所に必要なものを配備する。防災訓練を総合的に行い、地域と地域の連携、地域と学校の連携、地域と行政の連携、学校と行政の連携などの各種連携をスムーズにとれるよう情報連絡体制などを考え直し、訓練に取り込んでいく。

7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

中間報告会で意見・質問の多かった「これまでの地域と学校のつながり」について、
先達からのコツの伝授です。



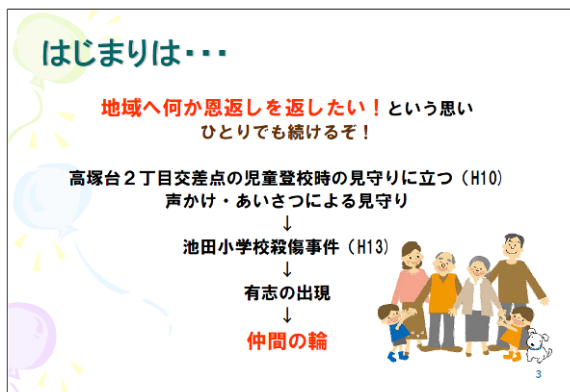
高塚台2丁目の活動のコツ
ひとが大好き！

+行政
地域と学校の連携ができるまで



河合町の地域紹介

河合町は奈良盆地の西部に位置しており、大阪へのアクセスは1時間以内と非常に交通の便が良い環境で、歴史遺産を保存し、豊かな自然環境と調和をはかりながら、大都市圏にアクセスしやすい住宅都市として発展しています。



はじまりは...

地域へ何か恩返しを返したい！という思い
ひとりでも続けるぞ！

高塚台2丁目交差点の児童登校時の見守りに立つ (H10)
声かけ・あいさつによる見守り

↓

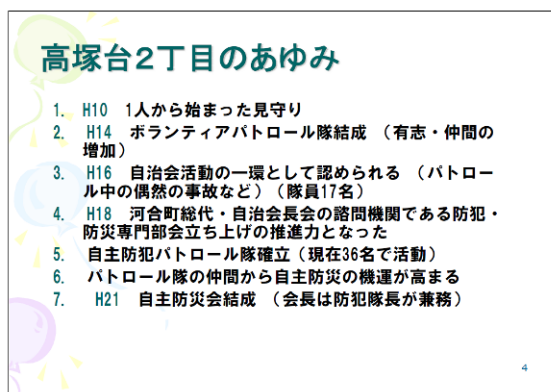
池田小学校殺傷事件 (H13)

↓

有志の出現

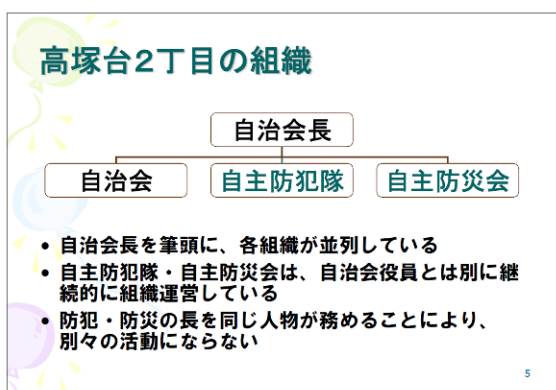
↓

仲間の輪



高塚台2丁目のあゆみ

- H10 1人から始まった見守り
- H14 ボランティアパトロール隊結成 (有志・仲間の増加)
- H16 自治会活動の一環として認められる (パトロール中の偶然の事故など) (隊員17名)
- H18 河合町総代・自治会長会の諮問機関である防犯・防災専門部会立ち上げの推進力となった
- 自主防犯パトロール隊確立 (現在36名で活動)
- パトロール隊の仲間から自主防災の機運が高まる
- H21 自主防災会結成 (会長は防犯隊長が兼務)

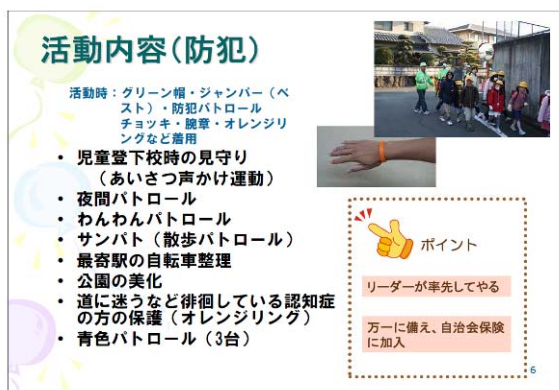


高塚台2丁目の組織

```

graph TD
    A[自治会長] --- B[自治会]
    A --- C[自主防犯隊]
    A --- D[自主防災会]
  
```

- 自治会長を筆頭に、各組織が並列している
- 自主防犯隊・自主防災会は、自治会役員とは別に継続的に組織運営している
- 防犯・防災の長を同じ人物が務めることにより、別々の活動にならない



活動内容(防犯)

活動時：グリーン帽・ジャンパー(ベスト)・防犯パトロールチョッキ・旗章・オレンジリングなど着用

- 児童登下校時の見守り (あいさつ声かけ運動)
- 夜間パトロール
- わんわんパトロール
- サンバト (散歩パトロール)
- 最寄駅の自転車整理
- 公園の美化
- 道に迷うなど徘徊している認知症の方の保護 (オレンジリング)
- 青色パトロール (3台)

ポイント

- リーダーが率先してやる
- 万が一に備え、自治会保険に加入

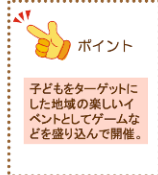
(自由記述: 1/3)



活動内容(防災)

活動時・グリーン帽・ヘルメット着用

- ・地元児童に登校時の避難訓練 (H20～)
- ・防災訓練
(避難・消火・吹き出し・応急担架の作り方)
- ・親子消火栓ラリー
- ・AED講習会 など



ポイント

子どもをターゲットにした地域の楽しいイベントとしてゲームなどを盛り込んで開催。

地域の小学校との連携

- ・小学校支援活動への参加
 - ・毎年PTA役員・委員とボランティアパトロール会合
 - ・地元自治会へ学校から毎月行事の連絡
 - ・地元自治会へ学校から児童下校時間の連絡
 - ・小学校マラソン大会のコースガード役
- 児童にも防犯意識が高まる！**
- ・「いかのおすしー人前」ダンス最優秀賞
 - ・交通安全自転車競技全国大会入賞



継続は力なり!!

★元々はたったひとりの志ある人から始まった活動です。

この方は自治会役員になる前からコツコツと活動を続けられ、近所との挨拶や犬の散歩時の声かけ、自宅近くの角で登校する児童の見守りを賛同する方を増やしていかれたものです。

その活動が基で、自治会長になられた後、町内の自治会長会でも「防犯防災専門部会」を作るきっかけとなり、当地区のみでならず、町内の防犯防災の活発な活動の火つけ役となられています。現在は自治会、防犯パトロール隊、自主防災組織会の縁の下の力持ちとして活動されています。「この人だ！」と目をつけた人を仲間にするのがウマイ！

大阪池田小学校の児童殺傷事件、奈良市の楓ちゃん事件を受けて、学校側も「開かれた安全な学校」を目指し、この方からの様々な働きかけに应运えてきた年月があり、当時の校長が退任された後も引き続き地域とのつながりを引き継いでおられる先生が第三小学校のカラーとして、地域の方とうまく付き合いながら、防犯のイベントなどでは「いかのおすしー人前」と言えば県内では三小金管バンドが舞台上がり、子ども自転車大会にも8年連続県内優勝、県代表として全国大会にも出場するなど、活発な校内活動がなされています。(「引き続き在籍する教師がおれば地域との連携は保たれる」とは現教頭の言)

町役場(行政)の担当課に対しても、地域から苦情や要望としてではなく「次はこんなことをやるので見に来てください」や「このイベントに何かいい知恵はないですか？」などの相談をすることがきっかけとなり、各種イベントや訓練、学校とのつながり、校区を超えた自治会や自主防災会のつながりをバックアップしてもらっています。

(自由記述: 2/3)

かわいっこ かえるきゃらばん！ In 第3小学校
取り組み写真（4月～7月）



4年生と合同
人と未来防災センター社会見学



6年1組
校区探検すごろく 制作風景



6年2組
防災寸劇



5年1組 防火パズル等



5年2組
家具転倒防止・家屋耐震化



7月19日 全校イベント
かわいっこ かえるきゃらばん！

初開催！近隣8自治会合同防災訓練（11月）

家具転倒防止講習会（自治会12月）



（自由記述： 3/3）